

広報

ただみ

11
2009 月号
No. 474
平成21年11月10日



今月の表紙

10月30日に行われた、第1回只見高等学校校内駅伝大会には全校生徒が参加。町下運動広場の周囲をリレーで14周走りタイムを競った。クラスごとに4チームがエントリー、快晴の青空のもと選手たちは爽快な汗を流しタスキをつないでいた。

祝 ただみ・ブナと川の ミュージアム オープン 2~5

- 只見町小学校体育交歓会 他..... 6~7
- 平成21年度秋季消防検閲式 他..... 8~9
- 町制施行50周年記念事業フレンドシップコンサート 他... 10~11
- 町の話題 12~13

只見町は第六次振興計画において「ブナと生きるまち」を掲げ、「世界ブナ・サミット in 只見」の開催や「自然首都・只見」の宣言など、ブナを中心とした地域活性化事業を実施、ブナのまち只見の情報発信活動を展開して参りました。その様ななか、平成19年5月17日に只見町ブナセンター推進委員会が開催され、只見町ブナセンターが発足、以後、着実に準備が進められ、旧川の歴史博物館の展示が一部改修された「ただみ・ブナと川のミュージアム」がオープンしました。

只見町のシンボル「ブナの森」を象徴する「ただみ・ブナと川のミュージアム」は郷土の自然環境と、そこに生息・生育する多様な数多くの動植物の生き方をテーマにブナの森で繰り広げられる生物たちの織りなす営みと共生の世界を展示、紹介しています。自然環境教育や学習の拠点として、さらに情報発信施設として、多くの皆様にご利用いただけるミュージアムとなっております。皆様のご来場をお待ちいたします。



祝

ただみ・ブナと川のミュージアムオープン

只見の自然は日本の財産・世界の財産

ただみ・ブナと川のミュージアム
開館記念式典



▲目黒町長ら関係者によるテープカット

10月3日、ただみ・ブナと川のミュージアムがオープンし、同施設において、開館記念式典及び記念講演、パネルディスカッションが行われました。

記念式典では、目黒町長があいさつで「私たち只見町の住民を包んでくれる身近なブナの豊かな森がもたらしてくれる恵みに、感謝の祈りを捧げるまたとない機会となりました。ご出席の皆様方と共に、ブナの森の価値を学びましょう」と述べました。続いて、佐藤雄平福島県知事代理の渡辺典雄南会津地方振



▲施設内覧の様子

興局長並びに渡部勝博福島県議会議員が祝辞を述べました。その後、監修者である河野昭一京都大学名誉教授が改修にかかる概要を説明、「大人はもとより子どもたちにも楽しんで見学いただけるよう配慮しました」などと話されました。

引き続き目黒町長らによるテープカットでオープン、ただみ・ブナと川のミュージアムの扉が開かれました。

施設内覧では、河野昭一氏が目黒町長はじめ来賓の方々を案内され、リニューアルされた館



▲河野昭一氏の記念講演

内を出席者は興味深い様子で展示物などを見学されました。

内覧終了と同時に一般開放され、オープンを待ちわびた町民の方々が入館され、映像シアターや只見のブナと自然をテーマにしたパノラマシアターなどを楽しみに楽しめました。

今後は、世界に誇れる只見の雄大で貴重な自然資源の希少価値を情報発信していく拠点施設として躍進することを期待したいと思えます。



▲パネルディスカッション

只見町に「ただみ・ブナと川のミュージアム」完成

～永年の夢の実現と、只見町の新たなシンボルの完成を、皆さまと共に祝いましょう～

只見町は、地形的にも雪食地形で飾られた美しい山並みに取り囲まれ、その上、ブナを主人公とする豊饒の森に飾られた、類い希なる自然に恵まれた、正に「自然首都・只見」を宣言するに相応しい町であります。

この世界遺産級のブナの森に代表される只見町に、この度、建設されたのが、「ただみ・ブナと川のミュージアム」であります。世界遺産級のブナの原生林に取り囲まれた只見町に相応しい、新たな町のセール・ポイントが完成されたのです。この町の施設は、永年の町の夢でもあったと言われています。

この博物館の展示室の限られた空間の中に、只見を象徴する「豊饒なブナの森」を再現するのは、至難の技でありました。四季を通じて、豊富な水をたたえる景観、ブナの森に随伴して発達する水辺林、そこは、正に様々な植物や動物を養う「自然



河野 昭一 (かわのしょういち)
 (ただみ・ブナと川のミュージアム監修者)
 京都大学名誉教授, Ph. D.
 国際自然保護連合生態系管理委員会・副委員長(IUCN-CEM)(北東アジア担当)日本生態学会自然保護専門委員会・委員、NPO法人地球環境大学理事長
 世界のブナの遺伝構造及び群落構造研究の専門家。そのほか植物生活史の解明に情熱を傾ける。学会誌公表論文ほか329編以上。著書には、「種と進化」「種と分化と適応」「植物生活史図鑑Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」など他、多数。

のゆりかご」でもあります。その豊かで清らかな水辺の景観を、どのように表現するか、ブナの森との一体感をいかに再現するか、大きな課題でありました。

只見町を象徴する豊かなブナの原生林は、全ての生き物の生命の源である豊富な水を生み出し、川や湖を潤す源でもあるのです。郷土を愛する只見の人々でなければ造りあげることの出来ない、そして只見町の歴史にその足跡を残した、正に「夢の施設」でもあるのです。自然の宝庫、正に「自然首都」宣言をした只見町でなければ出来なかつた大仕事であったと言えるでしょう。

また、豊かな森があつて初めて、その生命が育まれる動物たち、とりわけ見事な昆虫標本の展示コーナーは、只見の子どもたちにとつても、魅力的で、素晴らしい憩いのひとときを提供する空間となることでしょう。



只見公認自然インストラクター

「ただみ・自然案内人」

渡部 和子さん(館ノ川)

ただみ・ブナと川のミュージアムと自然案内人との係わりについての意見を求められて考えてみました。

がおられたら、私ら自然案内人はその手足となってサポートしていきけるでしょう。

展示物だけではきつと再度来館される方は少ないと思います。河野先生方も「スタート点に立ったばかり」と言っておられました。ただみ・ブナと川のミュージアムをこれからどのように発展させて行けるかに私なりの夢はあります。

私も自然案内人として認定されたばかりで経験の少ない初心者です。これから探究心を持って只見のお宝を探し歩き、このミュージアムに整理していったらいいかと考えています。只見の自然は研究者やマニアの方々には、新しい発見や、古い風習と生活民具など、とても魅力のあるところらしいので、各分野の専門の方々に情報を流し研修の会場にしていたりとか、月1回くらい子どもたちの自然塾を開くとか、新緑や紅葉のブナ散策を観光協会と協力して開いてみるとかすれば自然首都宣言をし、ブナの町としてのこれからの役に立つ施設になるのではないのでしょうか。

ここが、只見の自然や生活民具などの資料を、整理でき町民の方々が気軽に情報交換したり、子どもたちは、このミュージアムで、只見の自然についてなに？何で大切なのかを学ぶ、学習の場としていくには、何が必要なんだろう、考えはじめたら頭の中はグシヤグシヤと、まとまりませんが、私からの要望は、ぜひ、知識豊かな専門職の館長さんを探してほしいと思います。只見が大好きで、自然が大好きで、やる気のある館長さん

あれこれ制限ばかりでは発展はしないと思います。目先にとらわれず時間をかけて充実した施設になる事を願っております。



パネルディスカッション

「只見の自然と“ただみ・ブナと川のミュージアム”」

意見

コーディネーター

坪田 和人氏(ブナの山旅の著者)

只見のブナはまっすぐで大きい。季節風がやわらげられる環境にあり、雪に強いブナにとって只見は最適な環境。日本一の品格。

只見の自然は、民家の近くからあって身近。日本では只見ぐらい。大変貴重、これからも維持してほしい。

パネラー

河野 昭一氏(京都大学名誉教授)

情報発信が目的。昆虫などの標本はまだまだあるので充実させたい。地域の子どもたちの情報源であってほしい。自然とミュージアムのネットワークを活かすこと。生物多様性に重要なブナの生態系のネットワークを展示していく。

パネラー

金井塚 務氏

(広島フィールドミュージアム会長)

只見の自然は豊かな生産性がある。どう言う森が必要かを教えてくれる自然がある。

このミュージアムは楽しく学べる施設。色々調査研究をされ標本の収集をしてほしい。テーマを持った博物館ができた。ここでの情報が大きく広がってほしい。

パネラー

鈴木 嘉津雄氏(ただみ・自然案内人)

自然をよく観察され展示されている。ブナのミュージアムとして日本の中心となることを期待したい。自然の魅力は、そのなかで自由に遊べること。この施設を拠点に皆さんを安全に案内していきたい。

パネラー

渡部 和子氏(ただみ・自然案内人)

只見は山全体が豊か。都会人はどこを見ても感動する。様々な場所を散策し、良い所を探して皆さんを案内したい。子どもたちにも自然の良さを伝えたい。昆虫の先生や、植物の先生による研修会などを行なってほしい。町民参加の標本作りなどをやってはどうか。

只見の広報員(ふるさと大使)が決定!!

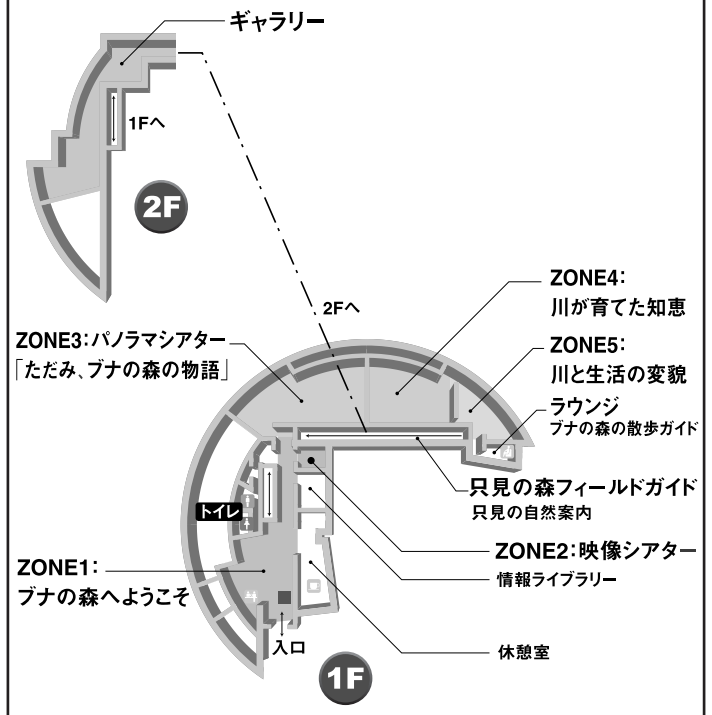
只見町の情報を発信したり、町に役立つ情報を収集したり、まちづくりの提言などを行なっていただく広報員「ふるさと大使」が決定しました。

委嘱状の交付式は10月3日に、ただみ・ブナと川のミュージアムで行なわれました。委嘱期間は平成21年10月1日から1年間です。よろしくお願いします。

◆只見町広報員(ふるさと大使)名簿◆

	氏名	性別	住所
1	りゅうもん みゆき 龍門海行様	男	柏市
2	めくろ まこと 目黒信様	男	川口市
3	むらおか てるひさ 村岡輝久様	男	柏市
4	すずき はやと 鈴木勇人様	男	大田区
5	さかがみ なおや 坂上直也様	男	柏市
6	みやぐち ひろし 宮口弘志様	男	柏市
7	あらかき くにひろ 荒木國博様	男	柏市
8	まつざわ みほ 松澤美保様	女	柏市
9	ふじさわ ゆたか 藤澤豊様	男	柏市
10	いのまた こ 猪又かじ子様	女	柏市

■館内ZONE別展示概要



自己ベストを目指し 練習の成果発揮

～只見町小学校体育交歓会～



10月6日に町下運動広場において、町小学校体育交歓会が開かれ、只見、朝日、明和の小学生79人が陸上競技を通じて親睦と交流を深めました。

開会式では、只見小学校6年の目黒大成君が開式の言葉を述べ、大会会長あいさつで栗木豊教育長職務代理者は「みなさんの心に残るすばらしい体育交歓会にしてください。健闘を期待します」と述べました。

続いて、横山大太郎教育委員長の来賓祝辞があり、その後、朝日小学校6年の齋藤優輝君と須佐萌さんが「練習した成果を発揮し、自己ベストを目指し最後まで競技します」と選手宣誓し競技がスタートしました。

競技終了後の講評で実行委員長栗村良輔朝日小学校校長は



▲ 女子走り高跳び1位「渡部優花さん」 ▲ 男子走り高跳び1位「放上浩太君」

「ここまで練習に取り組んできた過程が大切。自己ベストを目指し大会に臨んだ姿は、皆さんを感動させ熱くさせました。今日まで頑張ってきたことを家族みんなでお話合ってください」と述べました。

今大会では、33年前に記録された女子ソフトボール投げの大会記録が、見事に更新されました。大会新記録をマークし優勝された明和小学校6年の馬場晶子さんにお話を伺いました。

「新記録達成おめでとう！」

◎記録更新の自信は？

晶子 自信はありました。練習では47メートルが最高なので49メートルの記録は嬉しいです。



明和小学校6年
馬場 晶子さん

◎ご感想を？

晶子 本当にびっくりしました。2年生の頃からスポ少でソフトボールを練習していたことが良かったです。(4年生でレギュラー、6年生でピッチャー)

◎中学校でやりたいことは？

晶子 陸上競技を頑張りたい。

◎将来の夢は？

晶子 できれば、スポーツ選手になって大きな大会で活躍したいです。

晶子さんは100メートル走でも優勝されています。夢に向かって頑張ってください。

第39回 只見町小学校体育交歓会 入賞記録一覧表 (3位まで)

性別	順位	競技		100m	80mH	4x100mリレー	走り高跳び	走り幅跳び	ソフトボール 投げ				
		1000m(男子) 800m(女子)											
男子	1	目黒 大成 6	渡部 萌生 6	島谷 拓実 6	朝日A	放上 浩太 6	飯塚 駿 6	岩淵 秀斗 6					
		3' 25" 2	只	14' 9	明	13' 7	只	1' 03" 1	1m35	朝	3m78	明	59m90
	2	飯塚 駿 6	放上 浩太 6	岩淵 秀斗 6	明和A	酒井 孝将 6	齋藤 優輝 6	渡部七依斗 6					
		3' 27" 1	明	15' 0	朝	13' 7	朝	1' 03" 7	1m23	只	3m74	朝	53m00
	3	伊藤 舜 5	酒井 孝将 6	一条 英昭 6	只見A	飯塚 拓巳 6	高田 祥太 5	伊藤 舜 5					
		3' 38" 0	朝	15' 5	只	15' 1	明	1' 06" 2	1m13	明	3m67	明	52m10
女子	1	五十嵐美央 6	馬場 晶子 6	渡部 優花 5	朝日A	渡部 優花 5	新國 優 6	馬場 晶子 6					
		2' 57" 6	明	16' 0	明	15' 4	朝	1' 04" 7	1m20	朝	3m24	只	49m00
	2	目黒 百華 5	須佐 萌 6	本名 未幸 6	明和A	本名 未幸 6	大竹 羽未 6	馬場 彩香 6					
		2' 57" 7	朝	16' 4	朝	15' 5	朝	1' 07" 4	1m20	朝	3m20	明	40m20
	3	菅家いつみ 6	星 真穂 6	吉津 愛 6	朝日B	酒井 りな 6	目黒 百華 5	馬場 楓 5					
		2' 58" 3	朝	16' 9	朝	16' 0	明	1' 11" 4	1m10	只	3m14	朝	33m70

※氏名右枠の数字は学年。記録右枠の文字は学校名。(只：只見小学校 朝：朝日小学校 明：明和小学校)

町制施行50周年を 記念して 只見町駅伝競走大会



▲号砲とともに一斉にスタート

10月11日、第47回只見町駅伝競走大会が町下運動広場から山里橋折り返しなどのコースで行われました。好天に恵まれ、澄み切った秋の青空のもとで健脚が競われました。選手は沿道の声援に元気づけられながら、全力で走り抜き、さわやかな汗を輝かせていました。

参加31チーム全てが完走を果たしました。

また、今回は只見ランナーズ及び只見町食生活改善推進員の皆様のご協力による無料トン汁コーナーがお目見えし、選手の疲れをほぐしていました。成績は次のとおりです。

【中学男子の部】

①荒海中学校野球部（2時間2分50秒）②只見中学校A

【中学女子の部】

入賞チームなし（オープン参加のみ）

【高校・一般女子の部】

①走レンジャー（1時間40分23秒）②ポカレディス③うるわし★レディース

【町内一般男子の部】

①只見走友会（2時間34分43秒）②明和青年団③只見町役場

【町外一般男子の部】

①爆走戦隊（2時間6分4秒）②福島駅伝会津坂下町B③福島駅伝会津坂下町A

大人気 無料トン汁コーナー 〈350食をサービス〉



防火意識の高揚と

訓練の充実を胸に

平成21年度秋季消防検閲式



▲ 通常点検を受ける消防団員



▲ 小型ポンプ操法

10月25日、町下町民広場を会場に秋季消防検閲式が行われ、消防団員150名、婦人消防隊員28名とポンプ車3台、小型動力ポンプ付積載車9台が参加しました。

検閲官の目黒町長による検閲宣言の後、閲団、通常点検、機械器具点検、ポンプ操法、分列行進などが行われました。

検閲官による訓辞講評では、「災害防除や地域住民の生命財産を守る奉仕的精神で消防活動に取組まれていることに敬意を表します。これからも町民

の安全安心のために高い消防精神で予防消防に努めてください」と述べました。

続いて、表彰及び感謝状の贈呈と来賓の方による祝辞がありました。また、受賞者を代表して第1分団第5班の目黒祐紀さんから「今回の受賞を励みに、誇りを持って今後も防災意識を高め予防消防に努めます」と謝辞が述べられました。

受賞者は次の方々です。

(敬称略)

【消防団長表彰】

●優良章

鈴木健(只見)、大竹信一(只見)、
新国伸一(只見)、五十嵐貴志
(只見)、若林友義(樋戸)、渡部
一弘(蒲生)、酒井正弘(寄岩)、
矢沢悟(塩沢)、横山大輔(樋戸)、
酒井公利(福井)、渡部一世(小
川)、渡部裕紀(福井)、横山悟
(黒谷)、馬場孝記(黒谷)、矢澤
愛樹(黒谷)、鈴木直(黒谷)、高
木正貴(坂田)、酒井守(小林)、
五十嵐剛(小林)、梁取茂弘(小
林)、角田誠(小林)、矢沢裕也
(二軒在家)、山内隆行(大倉)、
三瓶学(大倉)、飯塚崇弘(大倉)、
大東一臣(梁取)、山内悟(梁取)、
菊地明(梁取)

●精績章

目黒祐紀(樋戸)、松永孝一(只
見)、五十嵐健司(只見)、長谷
部達也(叶津)、三瓶竹伸(長浜)、

舟木努(布沢)、角田昌也(布沢)、
馬場誠(塩ノ岐)

【消防長官表彰】

●永年勤続功労章

本名誠(黒谷)

【福島県知事表彰】

●精勤章

鈴木好行(只見)

●永年勤続章

目黒芳美(石伏)、佐藤泉太(叶
津)

●優良青年消防団員章

三瓶一則(蒲生)

【福島県消防協会長表彰】

●功績章

目黒邦友(只見)

●精勤章

馬場一義(蒲生)、五十嵐潤之
助(塩沢)、吉津唯利(長浜)、梁
取守(坂田)、菅家英祐(布沢)、
矢沢元則(二軒在家)

●勤続章

三瓶宏(只見)、新国勇(只見)、
吉田晃男(叶津)、矢沢元則(二
軒在家)

●退職団員感謝状

渡部敏美(蒲生)、五十嵐郁夫
(長浜)

【消防団退職表彰状(銀杯)】

●退職報償

渡部敏美(蒲生)、五十嵐郁夫
(長浜)、山内宏二(小林)

【只見町長・只見町消防団長連名感謝状】

●感謝状

只見町婦人消防隊 只見分隊

大好きな只見に感謝を込めて…

只見中学校 学習発表会

紅葉祭

◇大好きな只見に感謝を込めて◇



只見中学校「紅葉祭」のシンボルマークは1年生から3年生までの文化祭実行委員会のメンバー18名により約3週間をかけ制作されました。

大好きな只見をイメージしたデザインはブナの木と只見中の生徒が手をつなぎ森の精が水を与えています。文字の中には、只見の豊かな自然を代表するコウモリや魚、植物の芽がデザインされています。

このシンボルマークは、生徒が持ち寄った布などをリサイクルして作られており自然環境の保護もアピールしています。

●デザイン者：本名奈菜さん（3年）
大竹さちさん（2年）



▲全校合唱「心の中にきらめいて」

第3回只見中学校学習発表会「紅葉祭」は「大好きな只見に感謝を込めて」をスローガンに10月18日、同校体育館で行われました。生徒一人ひとりが心に抱いている郷土愛を様々な発表で表現できればという思いが込められたスローガンが掲げられた紅葉祭は、開会行事に続き、スキット・英語弁論発表や即興ディベート、主張発表などが午前中に行われ、3年生の本名奈菜さんは協力することとは題してエコ活動に対する取り組みについて発表、また1年生の馬場康平さんは楽しいことと題し野球部の活動から学んだ協力することの大切さ、友達との助け合い、チームを強くしたい気持ちなどを発表しました。

午後には、クラス別の合唱コンクールにあわせ、特設合唱部の発表や全校合唱が披露され、日頃の練習の成果が発揮された美しい歌声が響き渡りました。続いての学年発表では総合学習で取り組んだ只見の銘水10選、郷土料理、特別豪雪地帯などの調査研究についてや職場体験、修学旅行で学んだ先人のレベルの高い建築技術や旅行中のエピソードなどのユーモアあふれる発表が、学年ごとにあり生徒や保護者、先生の笑いを誘っていました。



▲英語劇「石肥三年」



▲即興ディベート

体育館には生徒の学習成果が伝わる展示物も置かれ保護者などの目を引いていました。この日はPTAバザーや模擬店も開かれ、賑わいを見せていました。学校教育には地域の力、支えが必要不可欠で、生徒の成長にも大きく影響をもたらす大切な要素であることを改めて感じられた発表会でした。只見を愛する郷土愛の精神は確実に生徒の心に浸透しているものと思いま

町制施行50周年記念事業

フレンドシップコンサート



▲只見中学校体育館でのコンサート

町制施行50周年記念事業としてフレンドシップコンサートが10月15日に季の郷湯ら里で、16日に只見中学校体育館で開催されました。

世界でも最高位の演奏家が在籍するウィーン・ザイフェルト弦楽四重奏団の日本公演の一環で実現したコンサートにはプロの演奏家4名が来町し、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロで構成される世界トップレベルの弦楽四重奏の繊細で優美な旋律が次々と会場内に響き渡りました。

只見中学校体育館でのコンサートには町内の小中学校児童生徒と保護者が出席、緊張感が漂う中、約50分間の演奏に心の底から感激した様子でした。演奏終了後に、只見中3年生の三瓶志門さんから「素晴らしい演奏をありがとうございます。機会があれば、また聴きたいと思います。日本を楽しんでください」と英語でお礼の言葉を述べました。季の郷湯ら里のコンサートでは約170名が演奏を堪能しました。

開通は50年なのかも

八十里越フォーラム

町内の三地区センターでは、国道289号の早期開通促進と開通後のまちづくりを考えることを目的に「八十里越フォーラム」を毎年開催しています。今回で11回目となるこのフォーラムは、10月13日に新潟県側国道

工事現場視察をメインに行い、早期開通に向けた取り組みを推進しようとして企画したところ、町民45名が参加され、新潟県側の工事現場から現在進行している県境トンネルや、工事が進んでいない箇所などについて長岡国道事務所より説明を受け見学しました。

参加者からは「福島県側の工



▲新潟県側の工事状況を視察する様子

事はほとんど完了しているが、新潟県側の工事が進んでいない開通はいつになるのか」などと質問もありましたが、着実に進んでいる工事現場を確認して、開通を心待ちにしている様子でした。

また県境トンネルの掘削は、残り約300メートルまでに達している状況でした。掘削作業は1日約3メートル進むという説明を受け、数年後には福島県と新潟県がトンネルでつながることに参加者も期待に胸を膨らませていました。一日も早く開通して欲しいものです。



▲県境トンネルの工事概要の説明を受ける参加者

しあわせ金婚夫婦表彰式



▲表彰されたご夫婦

平成21年度しあわせ金婚夫婦表彰式は、10月20日に朝日地区センターで行われ、町内で26組のご夫婦が表彰されました。
関谷一只見町老人クラブ



▲三遊亭鳳楽師匠の講座

三遊亭鳳楽師匠・落語講座

10月31日、小川集会所で三遊亭鳳楽師匠を迎え落語講座が開かれ、約90名が詰め掛けました。鳳楽師匠は年に2回只見を訪れ観光されるそうです。この日は秋の紅葉ツアーに来町された時で、小川区の行事に合わせ行われました。参加者は落語の神髄を楽しみ、笑い声は途切れることなく会場に響いていました。

中国の民俗学会に 只見の民具が 紹介されました！

只見町の民具は、町民自らが収集し整理する只見方式で整理され、国指定重要文化財に指定されたことで知られています。これが中国の民俗学会のホームページに掲載されました。平成18年11月、只見町の民具国際シンポジウムに参加された中国の周星愛知大学教授が、只見町の民具を視察した結果を12ページにわたり報告したものです。只見町の概要、文化財、民具カード、民具分類表などがくわしく紹介されています。中国は近代化がすすむ一方で、古くからの民具が廃棄されているといわれます。只見町の民具整理方法が、中国の民具の保存と整理の参考になればすばらしいことです。中国民俗学会のホームページは
<http://www.chinesefolklore.org.cn/zh/>。
画面左上にある写真に只見町の民具が写し出されますが、それをクリックすると論文をみることができます。

歴史街道・吉尾峠を歩く集い

福島県地域づくり総合支援事業の一環として「歴史街道・吉尾峠を歩く集い」が10月24日に只見町と昭和村を結ぶ吉尾峠で開かれ、83名の参加者が約4キロメートルの道のりを紅葉を眺め歩きました。峠の頂上では、町文化財調査委員の飯塚恒夫さんや前県文化財保護指導員の堀金保男さんによる歴史の説明や、吉尾峠テッペン宣言、山村再生と連帯ののろし、山頂決議などが行われ、参加者は峠の歴史に思いを馳



▲峠の頂上で記念撮影

せていました。
また、昭和村のしらかば荘で交流会も開かれ、集いを振り返りながら親睦を深めました。

道路は危険がいっぱい気をつけてね

秋の交通安全指導

朝日保育所では、10月16日に幼児と祖父母の交通安全指導を行いました。はじめに後藤春彦朝日駐在所巡査長から交通安全のお話があり、交通安全母の会会長の渡部由美子さんからも「只見町からは交通事故を出さないようにみんなで気をつけましょう」とお話がありました。



その後、実際に道路を歩きながら、横断の仕方や信号機の使い方などをおじいちゃんやおばあちゃんと手をつなぎながら教えてもらいました。

この日は爽やかな秋空が広がり、楽しく交通安全について学びました。



平 季の郷・湯ら里が食品衛生優良施設表彰 成21年度食品衛生全国大会において受賞

季の郷・湯ら里が、社団法人日本食品衛生協会会長表彰の食品衛生優良施設として表彰を受けました。表彰式は10月23日に東京都中央区の明治座で行われ、目黒仁也支配人が出席しました。湯ら里の提供する食事（食品）全般の衛生管理は元より、浴室、客室、レストランなど、施設全体の清掃なども行き届き清潔で衛生的な施設であることが認められたものです。今年度の受賞施設は全国で256施設、福島県では湯ら里のほか4施設となっています。



▲ 表彰状を手にする目黒仁也支配人（右）

只 第1回福島県小学生スポーツフェスタ 見ガッツスポーツ少年団が第3位！



▲ 県で第3位の成績を目黒町長に報告する只見ガッツスポーツ少年団

第1回福島県小学生スポーツフェスタのソフトボールの部、新人県大会が10月10～11日に福島市のあづま総合運動公園で行われ、只見ガッツスポーツ少年団が第3位に入賞しました。只見ガッツスポ少は南会津予選を勝ち抜き、第2代表として出場。河東スポ少、杉田スポ少を破り第3回戦で桜スポ少（郡山）に惜敗しました。今大会へは5年生以下の児童で臨んでいます。今後の活躍が期待されます。

天 伊南川「のろし」リレー 気は良好、伝達速度も超ハイスピード



▲ 二軒在家愛宕山での「のろし」

好天に恵まれた10月18日に伊南川「のろし」リレー秋の陣が、こでなん（こでいらんにえ南郷プロジェクト）実行委員会の主催で行われました。

当日は、只見中学校グラウンドをスタートし俎板倉山、二軒在家愛宕山、梁取農村公園とリレーされ南郷地区の和泉田グラウンドから河原崎城跡までの全6ヵ所でのろしが揚げられました。リレーした区間は約15キロメートルで、のろしは約5分で伝わりました。伊南川を中心に町を越えた地域の連携やつながりが、さらに深められたことと思います。

食

ふれあい給食 食材を提供くださる生産者などと楽しい会話

明和小学校では、毎日の給食に食材を提供いただいている生産者の方や、地元商店の方、学校給食センターで給食を作っている調理員の皆さんと一緒に会話をしながら食べる、ふれあい給食を10月19日に行いました。新しいランチルームに全校児童が集い、その中の各学級に生産者や調理員の方も着席し、楽しく会話をしながら給食を食べました。最後に代表児童から「いつも食材をありがとう」「これからもおいしい給食をお願いします」などと感想が述べられました。



▲ 感謝の気持ちを込めて残さず食べようね

特

小学生バレーボール交流会 別講師に泉川正幸さんを迎えて

10月3日、只見中学校体育館と朝日小学校体育館を会場に、ただみコミュニティークラブ主催のバレーボール交流会が開かれ、町内外からスポーツ少年団15チームが参加しました。泉川さんの講演会や講習会の後、交流試合が行われ熱戦が繰り広げられ、泉川さんは「小学生はバレーを楽しんで。好きになってください。基本のサーブとレシーブをしっかり練習して身に付けてください」などと指導されました。



▲ 元全日本代表選手の泉川正幸さんと記念撮影

只

全会津中学校秋季バレーボール大会 只見中バレーボール部が優勝旗を手に！



▲ 優勝旗を手に喜びの只見中バレーボール部員

福島県中学生バレーボール男女選手権大会会津地区予選を兼ねた全会津中学校秋季バレーボール大会が10月10～11日に行われ、只見中バレーボール部が見事、優勝の栄冠を手にしました。只見中は10日に若松一中体育館で柳津中と湯川中に勝利し続く11日には若松六中体育館で下郷中、館岩中、南郷中に勝利。メンバー全員が実力を発揮し安定した粘り強いプレーですばらしい成績を収めました。

福島県大会は、11月14～15日に泉崎中体育館などを会場に開かれます。

サ

こまどり農園収穫作業 サツマイモの収穫で実りの秋を実感

こまどり会（渡部敏彦理事長）では10月7日に蒲生にあるこまどり農園の畑でサツマイモの収穫作業を行い、施設利用者やボランティアの方など29名が参加し汗を流しました。大きく育ったサツマイモを掘り出す作業は大変ですが、収穫したサツマイモを手にした利用者からは笑みがこぼれていました。

作業の後は、みんなでおやつを囲み疲れを癒しながら、実りの秋を喜び合いました。収穫されたサツマイモは学校給食センターに届けられ、給食の食材として利用されるそうです。



▲ 収穫したサツマイモを手に喜ぶ利用者



ヴィッキーの
にっぽん紀行
Vol.11

Victoria・Potter
ウィクトリア・ポッター
・1980年生まれ。英国ノーリッチ出身。
・2008年8月から町英語指導助手。



今月のはじめ、友人達と猪苗代と五色沼に行ってきました。その日は天気がよく、湖はまるで画家が絵筆をすすいだような美しい碧青色をしていました。沼の色は大変鮮やかでした。イギリスにはミネラルが含まれている湖が無く、カラフルで美しい湖がありません。私がそこを訪れたのは10月のはじめで、紅葉が始まりつつある時期でした。今度は碧青の水面に鮮やかな紅葉が映る時期に訪れてみたいです。

10月の18日に只見中学校では紅葉祭(文化祭)が開催されました。全校生が一生懸命作り上げたすべての発表に感動しました。その中でも、私が一番楽しませてもらったのは英語劇でした。(もちろん、私にとつてとても分かりやすかったからです。・劇の練習や英文の暗記など、とても大変だったことと思います。すばらしい文化祭にするためにみんなが一生懸命準備をしてくださる人たちに楽しんでいただけました。

文化祭の振り替え休日で平日が休みとなり、私は友人と若松へ「赤ベコ」の色塗り体験に行ってきました。こんなに真剣に取り組んだことがないぐらい集中し、そんな自分を誇りに思いました。完成した「赤ベコ」は

クリスマスにイギリスに持ち帰り、母へのおみやげにしたいと思えます。私は以前にも地元ノリッジのお世話になった方へ「赤ベコ」を送ったことがあります。会津生まれの「赤ベコ」がわたしのホームタウンに住みつけているのです。

この秋の季節、皆さんの生活も実りあるものになることをお祈りしています。
(訳・只見中・平野)

広報ただみ診療所

10年後あなたは健康でいたいですか？

朝日診療所 医師 星野弘尊

『予防医学』とは線引きできない「健康」と「病気」の境界をできるだけ「健康状態」に近づけ「健康状態」を維持するには、という観点から全人的にアプローチする医学です。狭義には、病気になるように未然に防ぐ医学と言えます。食生活、運動生活習慣などを正し、病気になる身体を作ることが、これにあたります。収縮期血圧と心筋梗塞、脳梗塞による死亡率の関係を考えてみましょう。収縮期血圧が140 mmHgを超えた場合、関連死亡率は10%を超えます。しかし、110〜120 mmHgの人でも6%の死亡率があり、140 mmHgから急に危険性が発生するわけではありません。当たり前ですが、一定の基準値以下ならリスク0ではありません。これを理解せず、例えばタバコなどでは、「健康診断で、すべての数値が正常だから」、「何の症状もないから」と喫煙を続け、肺がんや肺気腫へと近づいているのです。

日本人のライフスタイルが欧米化し、ストレス社会、運動量の低下とあいまって引き起こされる生活習慣病が注目されています。現在では、幼少時から生活習慣の改善の必要ありとも言われています。生活習慣病の基盤である肥満は幼少時に始まり大学生のうちにはすでに進行しているのが現実です。

ここで大切なのは、①何が自分に起きているかを認識すること、②何が自分に影響を及ぼしているかを認識すること、③何が自分に必要なかを認識することの3つの事柄です。これら3つをすべて満たして、初めて「健康」を自ら手に入れることができます。以上3つを認識するには、「何が病気を起こし得る要因となるか」を理解することが最も大事なことです。

人は何が原因で死ぬのでしょうか。平成18年の統計では1位がガン、2位に心疾患、3位に脳血管疾患となっています。ガンの中には増えたもの(肺癌、肝癌、大腸癌、乳癌)、減ったもの(胃癌)がありますが、原因は欧米化した食生活およびタバコの影響の結果と考えられます。『予防医学』の知識がこの平成18年に亡くなった人たちにあつたならば、少なくとも半数は平成18年に亡くなることはなかったでしょう。また現在寝たきりで過ごしている人の少なくとも半数は、自分で歩き、食べ、家族と楽しい時間を現在も続けていたであろうと考えられます。

『予防医学』を学ぶことでどういう病気が予防できるでしょうか。ほとんどすべての病気は「遺伝因子」「環境因子」および「生活習慣因子」が原因で発症します。「環境因子」「生活習慣因子」のコントロールで様々な病気が防げます。具体的には「各種のガン、高血圧、高脂血症、糖尿病、脳梗塞、虚血性心臓病、骨粗鬆症、肝臓病、腰痛、五十肩、うつ病」などがあげられます。

より健康により自分らしく生きられるようにという生活がよいのか理解しましょう。
『10年後どのような生活を送っていたいですか？』
『そのためにはどうしたらいいですか？』
『今の生活を続けたらどうなりますか？』
一度ゆっくり考えてみてください。



『陰陽雑書抜書』永禄6年(1563)
「厠造吉日事」と「鬼ノ目打ツ時ノ作法」

町史

とっておきの話

184

東洋大学講師

久野俊彦

楮戸龍藏院の『陰陽雑書抜書』 戦国時代の節分豆まき

先づ、節分ノ夜、歳徳ノ方向ニ、心経三巻ヲ読ミ、次ニ歌詠ミヲ云フ。「打ツゾ鬼ハ外ヘハラハラト出ケリ福ノ三ツ内入り豆ノヲト」

其ノ後、大豆ヲ一ツカミ、ツカミテ、一角ヘ三度ツ、打ツベキナリ。先ツ「富内ヘ入レ」ト打チ、「鬼ハ外ヘ出ヨ」ト打チ、「福ハ内ニ入レ」ト打チ留ムベシ。此クノ如ク、四角ヲ打ツハ、三十四二度ナリ。十二月ノ不祥ヲ払ヒテ、福寿召ス表示ナリ。

又云フ、一角四度ト打ツ。其ノ時ハ斯ク前ノ如ク、心経、詠ミ歌ノ後、大豆ヲツカミ、先ツ十二打チト打ツテ、次ニ「鬼ノ目ヲ打ツ」ト打チ、次ニ「鬼外ヘ出ヨ」ト打チ、次ニ「福内ニ入レ」ト打チ留ムナリ。加様ニ四角ヲ打ツハ、四々十六度ナリ。一年中、春夏秋冬、四季四方ノ不祥ヲ払ヒ、福徳ヲ召ス相ナリ。

これによれば、節分の夜は、まづ歳徳神がいる明きの方に向かつて『般若心経』を読み、「打つぞ鬼は外へはらはらと出けり福の三つ内入り豆の音」という呪い歌を詠みあげて、大豆をつかんで、部屋の四隅に3度ずつ豆を打ち、「富は内に入れ。鬼は外へ出よ。福は内に入れ。」と言いま

す。一部屋の四隅で3回ずつ12回豆を打つのは、一年12カ月の災いを払って福徳を招くためです。また、「鬼の目打つ。鬼外へ出よ。福内に入れ。」と言つて四隅で4回ずつ豆を打ち、合計16回打つのは、春夏秋冬の東西南北にわたつて災いを払って福徳を招くためだといえます。

戦国時代から江戸時代初期の様子を伝える狂言「節分」では、「福は内へ。鬼は外へ。」と言つて鬼を払います。これは『陰陽雑書抜書』の掛け声に似ています。南会津町(旧田島町)金井沢では、豆を炒る時に、「はらはらと鬼の目玉を炒りつぶせ福徳内の豆炒りの音」という呪い歌を唱えま

す(『田島町史 民俗編』)。また、山梨県富士吉田市では、「福は内、鬼は外、鬼の目ぶつつかれ(ぶつつぶせ)」と3回唱えて、部屋の四隅に豆をまきます(『富士吉田市史 民俗編II』)。これらは、『陰陽雑書抜書』の呪い歌や豆打ちの記述とよく似ています。節分行事の作法が陰陽道の書物に記され、陰陽師や修験者(法印)が村々に節分の作法を説いたために伝わったのでしょうか。

陰陽道とは、中国で成立した道教のうちの暦や占いや呪いの技術が伝わって日本で成立した呪術的な宗教です。陰陽道の暦の占いや呪いは、鎌倉時代に成立した『富笈伝』に記されています。ほかにも、『陰陽雑書』『日法雑書』(『吉日考秘伝』)などの陰陽道書が作成されました。これらは、占いや呪いのこまごました知識を寄せ集めた書物であり、「雑書」と呼ばれます。雑とは多種類の集まりという意味です。龍藏院の『陰陽雑書抜書』は、これらの陰陽道の「雑書」からの抜き書きした便利帳です。そこには、田水始めの日、種まく日、山入りの日など、生活に密着した日取りの良し悪し(吉凶)が記されています。現在でも吉日を意識して「暦本」を見るように、「日を見る」ための書物です。この書物にはかなりの手垢がついており、つねに参照されたことがわかります。戦国時代の陰陽道書はあまり残っておらず極めて貴重な書物です。戦国時代の陰陽道書が奥会津に現存しているとともに、その知識が修験道の法印によつて村人に伝えられ、民間伝承としても現に存在していることに意義があります。

節分には「福は内、鬼は外、エベス・大黒・宇賀の神」と大きな声で唱えながら豆をまきます(『只見町史 民俗編』)。旧暦では節分は歳末にあたることが多いので、年取りの行事でした。節分の豆まきは室町時代から行われるようになりまし。京都の記録では、『花宮三代記』応永32年(1425)や『臥雲日件録』文安4年(1447)12月22日には、節分に「鬼は外、福は内」と言つて、歳徳神がいる明きの方(恵方)から豆をまき始めたと記されています。節分の豆まきが、日本中どこのように広まったのかは明らかではありませんが、只見町楮戸の修験・龍藏院には、室町時代末期の節分の豆まきの作法を記した『陰陽雑書抜書』が伝えられています。この書物は、暦の占いや呪いを記した書物で、永禄6年(1563)の奥書がありま

す。次に節分の一節を訓読して示します。

鬼目打ツ時ノ作法



町民文芸

只見短歌会

九月詠草

大塚栄一

指導

齊藤ちひろ

ロずさむ青春の歌途切れつつ八十路の寂しさしみじみ思ふ

吉津 政枝

年重ね遠く住む子の招き受け上京の有無を幾夜も思案す

渡部ゆき子

門付けの神楽呼び入れ魔除け乞へば鍾馗の面に孫は怯ゆる

五十嵐英子

花持ちて施設訪ひくるる姪らるて子のなきわれも寂しくあらず

古川 英子

共稼ぎの裏の家今宵も点らねば太鼓叩きて子供らは待つ

目黒 富子

急激に多き雨量の降りつぎて庭のめぐりの土削られつ

皆川 恒子

食卓の家族ら見つつ病院に一人飯食む兄をかなしむ

五十嵐夏美

町小さく口伝へにて情報の良きも悪しきも忽ち届く

馬場 八智

夕暮れて静かに雨の降り出せば蒔きし大根を思ひ安らぐ

渡部ヨリ子

一面に黄色く稔る稲の穂に不安もちつつ夫は刈りゆく

鈴木 邦芳

師の歌碑は秋風のなかわが生を思ひこの朝黙し歩まむ

新国 洋子

慎ましく生き来しわれか惜しげなく娘の捨てし食器を拾ふ

只見俳句会

十月例会

目黒十一

指導

礼

邦夫

身に入むや湖底の小山現わるる

颱風の行方氣になる蕎麦畑

秋天や石を投げれば川に音

喪歸りの一人の道や星月夜

修一

康女

亡き父の鎌を片手に拾う粟

古葉書の人の疎遠に虫すだく

神主の衣さやさやと村祭

朝風やふうせんかずら寄れば揺れ

一灯

リウコ

首細き花瓶選べり菊の花

新涼や抹茶の香り立つ山家

メロン切るやメロンに刃物吸い付きて

釣舟草刈るには惜しき紅の沓え

邦男

一穂

秋桜括られていて丈高し

一ト仕事明日へ残さず秋の暮

三晩つづけて邯鄲を聞く厨かな

早稲にまだ青実の残る刈り始め

吉児

死線突破の退院を祝ぐ栗強飯

遷宮やご先祖よりの露払い

隆堂

仔カモシカ顔膨らます野分かな

宵闇や篝火点す川の駅

今月のお知らせ

RECRUITMENT

募集

西部環境衛生組合 職員採用候補者試験

次により行います。

一 採用予定人員 若干名

二 受験資格

- ① 日本国籍を有する者。
- ② 地方公務員法第16条（欠格事項）に該当しない者。
- ③ 年齢資格等

昭和50年4月1日から、平成4年4月1日までに生まれた者で、普通自動車免許を有し、自宅から通勤可能な者。

三 試験の方法

高校卒業程度で次により行います。

第一次試験

教養試験（英語出題無）

第二次試験

作文・個別面接による試験
試験の期日・場所・発表

第一次試験

① 期日

平成21年12月13日(日)

② 受付時間

午前8時半～9時

③ 教養試験

午前9時半～11時

④ 試験場所

西部環境衛生組合

第二次試験

第一次試験合格者に対し、別途通知します。

五 受験手続・受付期間

申込用紙は西部環境衛生組合事務局で交付しますので、必要事項を記入のうえ、提出してください。

受付は平成21年11月26日(木)まで（執務時間中に限りです）

▼問い合わせ

西部環境衛生組合事務局

☎ 0241-17212639

電話番号

総務企画課	
総務班	☎82-5050
企画班	☎82-5210
町民生活課	☎82-5220
税務班	☎82-5110
町民班	☎82-5100
保健福祉課	
保健班	☎84-7005
福祉班	☎84-7010
産業振興課	
農林班	☎82-5230
交流推進班	☎82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎82-5270
生活環境班	☎82-5280
会計室	☎82-8120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
訪問看護ステーション	☎84-2130
こぶし苑	☎84-2101
保健福祉センター	☎84-7005
只見地区センター	☎82-2141
朝日地区センター	☎84-2111
明和地区センター	☎86-2111

50周年記念事業 梅の苗木配布事業について

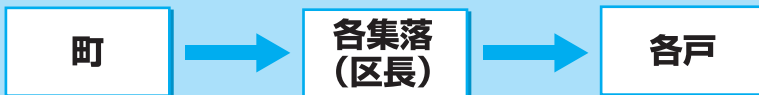
町制施行50周年を記念して、梅の苗木を町内全戸に配布します。

この記念植樹により、春の訪れとともに、町内全域で同じ花が鑑賞でき、果実を収穫することができるため、自然と調和した景観づくりが図られるとともに、自然に親しむ心が育まれることを願っております。

より美しく緑豊かな只見町を育むため、皆様の御協力をお願いいたします。

配布時期は11月中旬を予定しております。

苗木の配布について



※苗木を植栽する敷地や方法が無い方は、区長が役場農林班(82-5230)まで御連絡ください。

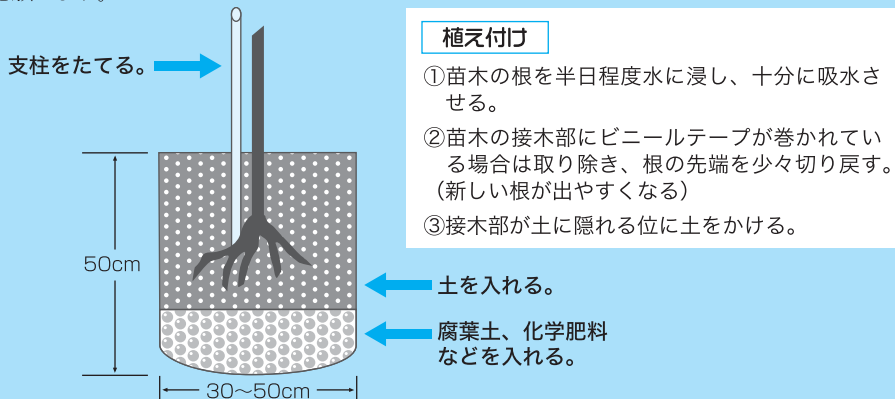
なお、各戸配布後に余った苗木については、集落内のどなたかに引き取ってもらうか、遊休農地に一括植栽するなど、各集落において対応願います。

※集落内での配布方法につきましては、区長に一任しておりますので、皆様の御協力をお願いいたします。

苗木の植栽について

苗木は、積雪寒冷地にも強い品種を選定し、植栽後の降雪にも耐えられるよう1.2～1.5m程度のものを配布いたします。

各戸で植栽するか遊休農地等に一括植栽するかなど、植栽方法については各集落において対応願います。



税 今月の納期

- 11月25日までに納めましょう
- 町県民税(3期)
- 国民健康保険税(5期)
- 農集排使用料(11月分)
- 介護保険料(5期)
- 長寿医療保険料(4期)

生活

会津鉄道サポーターズ
クラブ会員に

会津鉄道と地域とともに活性化しようとして設立された市民団体「会津鉄道サポーターズクラブ」の会員になりませんか。詳しい活動内容は現在企画中です。

●年会費

▽個人会員

・大人 1,000円

・高校生 500円

・中学生以下 無料（保護者加入が条件）

▽法人会員

1口 5,000円

●申込み

どなたでも加入可能。会津鉄道の有人駅と会津鉄道(株)本社のいずれかに年会費を添えお申し込みください。ホームページから申込用紙をダウンロードし、郵送かFAXで事務局に申し込むこともできます。詳しくは、お問い合わせください。

▼問い合わせ

会津鉄道サポーターズクラブ

事務局（会津若松市材木町）

☎ 0242-2815885

FAX 0242-2619730

新卒者の求人不足

平成22年3月卒業予定の新卒者に対する求人が不足しています。特に県内の事業所からの高卒求人については、前年に比べ9月末で約52%減少しています。次代を担う若者の地元定着人材育成のため、ハローワークに求人申込みをお願いします。なお、申し込みの際は最寄りのハローワークへご連絡ください。

▼問い合わせ

福島労働局職業安定課

☎ 024-528-0366

NTT東日本発行の
電話帳を配達・回収

NTT東日本福島支店では、12月中に順次、新しい電話帳（平成22年1月発行）を各家庭・事業所へお届けします。

その際、古い電話帳は新しい電話帳と交換いたしますので配達員に渡してください。

▼問い合わせ

タウンページセンター

☎ 0120-1506-1309

町職員の退職 10月31日付

●竹花まりこ（保健福祉課）

教育委員の退職

任期満了により、只見町教育委員の鈴木勝喜さん（只見）が退職されました。鈴木さんは平成7年9月26日から平成21年10月24日までの14年間在職され、平成16年1月5日から平成17年10月24日までの1年9ヵ月の間は、教育委員長も務められ、町教育行政の発展に大きく寄与されました。在職中は統合中学校がスタートするまでの間、町立中学校のあり方検討懇話会で提案・助言をされ、また、只見の民俗資料を国の重要文化財に指定するための山村文化伝承事業では、民具活用委員を務められ、民具の保存と国指定後の活用方針について提言されるなど、各分野において多大なご尽力を賜りました。

今後も、町の教育振興のためご指導をお願いいたします。長い間、ありがとうございました。

市町村対抗野球只見チーム惜しくも初戦敗退

第3回市町村対抗福島県軟式野球大会は10月11日、午前8時から福島市のあづま球場で行われ、只見町チームは福島市と対戦しました。チーム一丸となって全員野球で戦いましたが、チャンスを得点につなげることができず、惜しくも敗れてしまいました。来年は必ず「初戦突破」を達成します。と選手たちは決意を新たにしていました。

熱いご声援をいただいた町民の皆さん、本当にありがとうございました。

町長室日誌

〈10月分〉

- 3日 ただみ・ブナと川のミュージアム開館記念式及びふるさと大使委嘱状交付式
- 5日 南会津会事務局来庁
- 8日 只見町地域計画策定準備検討会、産業文化祭実行委員会
- 9日 福島県森林計画課加藤主幹来庁、只見町建設業協会会長及び福島県建設業協同組合長来庁、南会津地方振興局長来庁
- 11日 第47回只見町駅伝競走大会
- 13日 庁議
- 14日 南会津地域連携室との意見交換会、北陸地方整備局企画部長・長岡国道事務所及び三条市八十里踏査に来町
- 15日 町制施行50周年記念事業「ウィーン・ザイフェルトカルテットによるフレンドシップコンサート」、只見町社会福祉協議会会長・副会長来庁、地域公共交通会議、只見ガッツスポーツ少年団が福島小学生スポーツフェスタソフトボールの部3位入賞の報告に来庁
- 16日 東北総合通信局長来庁
- 19日 南会津地方振興局長来庁
- 20日 金婚夫婦表彰式、南会津農林事務所長来庁、電源開発東日本支店長他2名来庁
- 21日 電源開発(株)田子倉発電所運開50周年記念感謝の集い
- 25日 秋季消防検閲式
- 26日 9月定例議会10月会議
- 29日 地方自治体向けセミナー「地方政府時代の経営戦略とリーダー像」出席
- 30日 退職職員辞令交付
- 31日 21うつくしま森林文化フォーラム

町民の消息

(10月1日～10月31日届出分) 敬称略

■ご結婚おめでとうございます

大倉 横田 登貴夫 ♥ 美恵
(旧姓：目黒 美恵 只見)

■おくやみ申し上げます

外山 誠治 92 只見
吉津 昭夫 81 長浜
五十嵐 トシエ 96 福井
鈴木 博 65 只見

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成21年10月1日現在

人口	5,038	(-2)
男	2,401	(+1)
女	2,637	(-3)
世帯数	1,902	(+4)
高齢化率	41.3%	

※高齢化率とは、65歳以上の方が人口に占める割合です。

転入 5 転出 6 出生 4 死亡 5

▽山菜やキノコを採ったり、イワナやクワガタをつかまえたり、新緑や紅葉を眺めたり、カモシカに出合ったり、小さい頃から生活に浸透し当たり前に、そこにあった只見の自然が世界から注目されるとうです。豊かな森が人の生活にもたらす恵みについての調査研究が只見で行われ、来年の1月にはシンポジウムで中間発表される予定です。只見町は世界の貴重な財産なんです。▽そんな森や川の様子を展示紹介した「ただみ・ブナと川のミュージアム」がオープンしました。ぜひ、ご来館を。

あとがき

まちづくり推進員
若林 奈津子

朝日地区センター
図書室 ☎84-2059

おすすめ新着図書

★ちょっとだけ

ちょっとだけ



瀧村有子／著
鈴木永子／絵(福音館書店)
おうちにあかちゃんがやってきます。
おねえちゃんになったなっちゃんは、あかちゃんの世話で忙しいママを気遣っているいろいろなことに挑戦して、ちょっとだけ成功します。

眠くなってきたなっちゃんは、ママにちょっとだけお願い事をして・・・

淡い色づかひのイラストで、心あたまるストーリーです。

★へびの子ヌルとあい



星 富子／著
渡部 等／絵
(歴史春秋出版(株))
2005年に発表した「へびの子ヌル」の続編です。

前作に続いて、只見町小川地区在住の渡部等さんが挿絵を担当しています。表情ゆたかなへびの子ヌルと森の仲間たち。ぜひ手にとって読んでみてください。

★新参者



東野圭吾／著(講談社)
東野圭吾の加賀恭一郎シリーズ最新作です。
300ページを超える長編ミステリーですが、ひとつの殺人事件を、短編小説をつなぎ合わせて謎を解いていきます。じっくりと読める小説で、読書の秋を堪能してください。

★図書室に関する要望や購入図書の希望など、お気軽にお寄せください。

町民憲章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

田子倉湖



※この広報紙は再生紙を使用しています

10月19日の田子倉湖は快晴。穏やかな湖面を遊覧船がゆっくり進む。紅葉を楽しむ観光客で展望台は賑わいを見せていた。遊覧船から眺める晴れた日の紅葉は圧巻。その迫り来るコントラストはここでしか味わえない。



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています

イベントカレンダー

11月

● 3日(祝)

「第39回只見町産業文化祭」

● 14日(土)

「第18回只見新そばまつり」

12月

● 18日(金)

「只見スキー場オープン」

▼毎週日曜日午前8時30分より、午後2時まで、ひんのめえ市を開催。旬の野菜を販売しています。皆さんも出品してみませんか。詳しくは、お問い合わせください。

▼問い合わせ

只見町観光まちづくり協会

☎0241-8215250

営業時間 午前8時半～午後6時